

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第7号	令和4年10月28日	伊予市役所	産業建設部 環境政策課
題 目（テーマ）： ゼロウェイスト（ZERO・WASTE）宣言について			
提 案 理 由（要旨）			
伊予市は令和4年3月18日ゼロカーボンシティ宣言を行った。半年を経過し産業建設部環境政策課を中心に実行計画案作りに入ることとなった。 しかしながら環境に関することは課題が山積みしている現状である。これらの課題解決をしない限り「住んで良かったと思われる伊予市」にならないと思われる。私は一市民として二番目にやるべきことはゴミの問題であると考えている。決められた曜日に出さず保留シールを貼られているゴミ、分別せず生ゴミとして搬出した物の中に不燃物が混入しているケースも見受けられた。ゴミ処理従事者も大変な状況かと思われる。他にも海岸や用水路にプラゴミが山積みし、全世界でも大きく取り上げられている海洋汚染問題となりSDGsにも関連している。これらを含めた解決策として、ゴミステーション等にて搬出日を分かりやすくしたり、「地球温暖化やプラゴミ削減」に関するプレゼン資料を作成し、少しでも市民のみなさんが省エネやゴミの分別強化にしっかり取り組んでいただければと思い努力している。 ゴミをゼロにすることを目標に、できる限り廃棄物を減らそうとする「ゼロウェイスト（ZERO・WASTE）宣言」をお願いする。			
回 答 内 容			
この度は、「ゼロウェイスト宣言」について貴重な御意見をお寄せくださいます。ありがとうございます。 本市のごみ処理につきましては、御指摘のとおり様々な課題が山積しており、苦慮しているところでございますが、市民の皆さんと共に理解を深めながら活動することが大変重要であると認識しており、日頃の御尽力に感謝申し上げます。 さて、「ゼロウェイスト宣言」は、お示しのとおり無駄や浪費を最小限にし、ごみを出さないような社会を目指す取組のことで、1996年にオーストラリアの首都キャンベラにおいて世界初となる「ゼロウェイスト宣言」が発出され、以降、カナダやアメリカをはじめ、世界各国に広がりを見せています。日本では、2003年に徳島県上勝町が初めて宣言し、福岡県大木町、熊本県水俣市、奈良県斑鳩町、福岡県みやま市などが続き、国内の関心も高まっています。 宣言された自治体と本市では背景や状況が異なるため、まずは、これら先行事例の調査研究を行いたいと考えることから、直ちに宣言するまでには至りませんが、その理念は、本市の目指すごみ処理の方向性と合致するところでございますので、現在策定中の「環境基本計画」や来年度に見直し予定の「一般廃棄物処理基本計画」にて、ゼロウェイストの理念を取り入れたいと考えていますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。			